

2022年5月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 「ホテル・サラトガ」のガス爆発
- (2) 人民権力全国議会第9立法期第5回臨時議会の開催

2 外交

- (1) ギラルテ・キューバ労働者連合（CTC）事務局長（政治局員）のイタリア訪問
- (2) ペレス科学技術環境大臣のコスタリカ訪問
- (3) ロドリゲス外相のベネズエラ訪問
- (4) ロペス・オブラドール・メキシコ大統領のキューバ訪問
- (5) マレーロ首相のベネズエラ訪問
- (6) ギラルテ CTC 事務局長（政治局員）のフランス訪問
- (7) カブリサス副首相のイラン訪問
- (8) ゴンザレス外国貿易・外国投資省次官のフランス訪問
- (9) 米国の対キューバ経済制裁緩和に対する外務省声明
- (10) ロドリゲス外務次官の米国訪問及び移民協議
- (11) カブリサス副首相のトルコ訪問
- (12) ポルタル保健大臣の第75回世界保健会議への出席
- (13) ベラスケス教育大臣の世界教育フォーラムへの出席
- (14) ガルシア観光大臣のドイツ訪問
- (15) 第21回米州ボリバル同盟人民貿易協定（ALBA-TCP）首脳会議の開催

3 経済

- (1) 第40回ハバナ国際観光展の開催
- (2) ヒル副首相兼経済企画大臣によるキューバ経済の現状報告

4 新型コロナウイルス

- (1) 新型コロナウイルス感染状況等（※5月31日時点、保健省発表）
- (2) 新型コロナウイルス対策ワクチン接種者人口割合（※6月5日時点、保健省発表）

【本文】

1 内政

- (1) 「ホテル・サラトガ」の爆発（6日）
6日午前11時頃、ハバナ市旧市街に位置する「ホテル・サラトガ」にて爆発が発生し

た。キューバ政府側の発表によると爆発の原因はガス漏れであり、保健省発表によると合計死者数は４６名（うち外国人は１名）となった。

（２）人民権力全国議会第９立法期第５回臨時議会の開催（１４－１６日）

１４日から１６日、人民権力全国議会第９立法期第５回臨時議会が開催された。８つの法案（刑法、食糧主権及び食糧・栄養安全保障に関する法、天然資源及び環境制度に関する法、個人情報法、刑事訴訟法、憲法上の権利の保護に関する法、作家と役者の権利法、文化遺産及び自然遺産の保護に関する法）が承認され、その他、ヒル副首相兼経済企画大臣による経済社会戦略の進捗状況（３（１）を参照）及び１５８の新たな施策が発表された。

２ 外交

（１）ギラルテ・キューバ労働者連合（CTC）事務局長（政治局員）のイタリア訪問（５－８日）

５日、ギラルテ・デ・ナシメント CTC 事務局長はイタリアを訪問し、第１８回世界労働組合連盟（WFTU）定期大会に参加した。

（２）ペレス科学技術環境大臣のコスタリカ訪問（７日）

７日、ペレス科学技術環境大臣はコスタリカを訪問し、イブラヒム熱帯農業研究高等教育センター所長と会談を行った。会談では、同センターとキューバ農業省との間の経済・商業関係を拡大する意思を確認した。

（３）ロドリゲス外相のベネズエラ訪問（５日）

５日、ロドリゲス外相はベネズエラを訪問し、マドゥーロ大統領を表敬した。ロドリゲス外相のツイートによると、会談では二国間及び地域の課題についての意見交換が行われた。

（４）ロペス・オブラドール・メキシコ大統領のキューバ訪問（７－８日）

７日から８日、ロペス・オブラドール・メキシコ大統領はキューバを訪問し、７日にディアスカネル大統領と首脳会談を行い、メキシコ政府とキューバ政府の間の宣言と、メキシコ保健省とキューバ保健省との間の協力協定に署名が行われた。また８日、バルデス・メサ副大統領とともに革命広場のホセ・マルティ記念碑に花輪を捧げ、同日ディアスカネル大統領からロペス・オブラドール大統領に対してホセ・マルティ国民勲章が贈られた。

なお、ディアスカネル大統領とロペス・オブラドール大統領の間の首脳会談は今回で４回目。ロペス・オブラドール大統領は初のキューバ訪問。

(5) マレーロ首相のベネズエラ訪問 (9 - 11日)

9日から11日、マレーロ首相はベネズエラを訪問した。なお、今回は同氏の首相として初めて外遊。キューバからは、ロペスカジェハス政治局員 (企業運営グループ GAESA 総裁)、タピア副首相、ポルタル保健大臣、ビダル外務次官、ロサダ外務省二国間担当総局長が同行した。また、その他マレーロ首相はキューバ人医師が派遣されている総合医療センターや食品加工施設の視察も行った。

(6) ギラルテ CTC 事務局長 (政治局員) のフランス訪問 (12日)

12日、ギラルテ CTC 事務局長は、フランスを訪問しフィリップ・マルティネス・フランス労働総同盟書記長と会談を行った。なお報道によれば、同労働総同盟は、昨年よりキューバへ生活必需品を送る取組みを行っている。

(7) カブリサス副首相のイラン訪問 (13 - 18日)

13日から17日、カブリサス副首相はイランを訪問し、ライースィ・イラン大統領表敬及びアブドラヒアン・イラン外相との会談を行い、また第18回イラン・キューバ貿易経済協力会議に参加した。同会議の中で、両政府は13の協定に合意し、キューバのフィンレイ・ワクチン研究所とイランのパスツール社は、小児用混合ワクチンの共同研究に関する覚書を締結した。これにより、キューバ国産ワクチンであるソベラナ2の技術移転を行い、PastoCorona という名前の新型コロナウイルス対策ワクチン製造工場が発足し、イランはキューバ国産ワクチンをつくる最初の国となったと報道された。

キューバから、アロンテ・エネルギー鉱業大臣、ロサダ外務省二国間担当総局長が同行した。また、今回のイラン訪問の中で、カブリサス副首相は、ファテミ (Fatemi) イラン産業鉱業貿易大臣及びモタギニア (Motaghinia) 農業銀行総裁とも会談を行った。

(8) ゴンザレス外国貿易・外国投資省次官のフランス訪問 (13日)

13日、ゴンザレス外国貿易・外国投資省次官はフランスを訪問し、財務省、フランス開発庁、仏・キューバ協力団体代表、ビジネス関係者と会談を行った。

(9) 米国の対キューバ経済制裁緩和に対する外務省声明 (16日)

16日、米国政府がキューバに関して、査証、定期的な移民、(キューバ国内の) 地方へのフライト、家族送金、非国営セクターとの取引に関する規制の変更等を発表したことに、キューバ外務省は、「正しい方向への小さな一歩」と題する声明を発出した。

(10) エリオ・ロドリゲス外務次官の米国訪問及び移民協議 (17 - 20日)

17日から20日、エリオ・ロドリゲス外務次官はニューヨークを訪問し、第1回国際移民検討フォーラムに出席した。同フォーラムは国際移住機関 (IOM) が国連と共同で開催

した。

(11) カブリス副首相のトルコ訪問(19日)

19日、カブリス副首相はトルコを訪問し、ネバティ・トルコ財務大臣、デンメス・トルコ・エネルギー天然資源大臣、カブシオグル・トルコ中央銀行総裁と会談を行った。キューバから、アロンテ・エネルギー鉱業大臣、リバス外国貿易・外国投資省次官、ロサダ外務省二国間担当総局長が同行した。

(12) ポルタル保健大臣の第75回世界保健会議への出席(23日)

23日、ポルタル保健大臣はジュネーブを訪問し、第75回世界保健会議に出席した。この機会に、同大臣は、テドロス WHO 事務局長、スペランサ・イタリア保健大臣、サリナス・ウルグアイ保健大臣、ティアゴ・モザンビーク保健大臣、クリス・マルタ保健大臣、ファアラ・南ア保健大臣、アル・ハラヘル・サウジアラビア保健大臣とそれぞれ二国間会談を行った。

(13) ベラスケス教育大臣の世界教育フォーラムへの出席(23日)

23日、ベラスケス教育大臣は英国を訪問し、ロンドンで行われた世界教育フォーラムに出席した。またこの機会に、同大臣は、ジブチ及び南アフリカの教育大臣との会談、英国のキューバ議員連盟の国会議員との会談を行った。

(14) ガルシア観光大臣のドイツ訪問(27日)

27日、ガルシア観光大臣は、観光キャンペーン「Cuba Unica(当館注:5月にキューバ観光省が発表したキューバと他のカリブ諸国の違いを強調する観光キャンペーン。)」の促進のため、ドイツを訪問した。キューバからは、ラトゥフ・ガビオタ・グループ総裁が同行した。

(15) 第21回米州ボリバル同盟人民貿易協定(ALBA-TCP)首脳会議の開催(27日)

27日、首都ハバナにおいて第21回米州ボリバル同盟人民貿易協定(ALBA-TCP)首脳会議が開催された。前回の第20回同会議は昨年12月に開催。本首脳会議は、6月6日から10日までロサンゼルスで開催される第9回米州首脳会議の数日前というタイミングで開催され、ALBA-TCP加盟国は、西半球の会議から一部の国を排除しようとする米国の意図を拒否すると主張した。

主な出席者は、ディアスカネル大統領、ジョレンティALBA-TCP事務局長、マドゥーロ・ベネズエラ大統領、アルセ・ボリビア大統領、ゴンザルベス・セントビンセント及びグレナディーン諸島首相、チェット・アンティグア・バーブーダ外相、スティール・

グレナダ保健大臣、シドニー・駐キューバ・セントクリストファー・ネービス大使（注：ダニエル・オルテガ・ニカラグア大統領、スケリット・ドミニカ国首相はオンライン参加）。

3 経済

（１）第４０回ハバナ国際観光展の開催（３－７日）

３日から７日、バラデロにて第４０回ハバナ国際観光展（FITCuba）が開催。５７か国から６千人以上が参加した他、キューバ側からもディアスカネル大統領、マレーロ首相等の要人が参加した。次回 FITCuba はハバナで開催予定。

（２）ヒル副首相兼経済企画大臣によるキューバ経済の現状報告（１４－１６日）

１４日から１６日に開催された人民権力全国議会において、ヒル副首相兼経済企画大臣がキューバ経済の現状につき報告した。ヒル大臣は、キューバ経済は徐々に回復していることを強調し、国内生産の強化、中小零細企業の承認、インフレ率の鈍化、国民の購買力の回復等を説明し、また国営および非国営企業に対する外貨の選択的・段階的換金スキームを徐々に確立する（外貨を１米ドル＝２４キューバ・ペソより高く、非公式レートよりは低いレートで販売する）ことを発表した。

4 新型コロナウイルス

（１）新型コロナウイルス感染状況等（※５月３１日２３：５９時点、保健省発表）

ア 感染者累計：１，１０５，３０６名
イ 死亡者数：８，５２９名
ウ 退院者数：１，０９６，５９５名
エ 自国帰国者数：５７名
オ 国外搬送者数：２名
カ 入院中：１，１９８名（うち、危篤３名）

（２）新型コロナウイルス対策ワクチン接種者人口割合（※５月９日時点、保健省発表）

緊急接種の許可が付与されているキューバ国産ワクチンの①アブダラ（３回接種型）、②ソベラナ２、ソベラナプラス（ソベラナ２を２回、ソベラナプラスを１回の３回接種型、またはワクチン未接種で感染した人はソベラナプラスのみの１回型）の合計３７，４３４，９２７回接種が行われ、人口の９０％が接種完了。

ア 第１回接種終了 １０，６７２，１６３名
イ 第２回接種終了 ９，４１１，３０８名
ウ 第３回接種終了 ９，１１２，５１４名
エ 接種完了人数（３回接種終了者及び感染者でソベラナプラス接種者の合計）：
９，９６６，３５６名

オ ブースター接種終了 7, 292, 367名

(了)